

45

Q 7-2

季節によって噴火の恐ろしさに違いがあるの？

A 十勝岳では、山に雪のある季節と無い季節では、災害が大きくなる可能性に大きな違いがあります。十勝岳の1926年5月下旬の噴火は、1962年6月末の噴火よりもかなり小さいものでしたが、山に雪が残っていたために火山泥流(大正泥流)が発生し、ふもとの災害はずっと大きくなりました。このように、噴火そのものが小さいからといって災害も小さいとは限りません。十勝岳では、季節に応じて噴火に備えることも大切です。

夏🍉～秋🍁

何千年に1回というようなよほど大きな噴火にならない限り、災害が起こる所は望岳台や吹上温泉よりも上の、山の中に限られます。十勝岳の西側のふもとの集落で災害が起こる可能性は高くありません。

冬🐰～春🌱(山に雪がある季節)

山に雪がある季節に噴火が起こると、火山泥流がふもとまで襲ってくるかもしれません。町などから伝えられる情報を良く聞いて、安全な所にいち早く避難する必要があります。大正泥流以前にも、ふもとまで泥流が襲ったことが何度あります。

大正泥流発生から90年目の十勝岳(2016年5月撮影)



十勝岳では、1926年(大正15年)の5月下旬に噴火が起きました。この時、高温の岩なだれが雪を溶かして火山泥流が発生し、ふもとの街まで流れて大災害となりました。ふもとにはもう雪のない時期でしたが、山にはまだ雪が残っていました。

Q 7-3

避難するように言われたらどうすればいいの？

A

●噴火の時は、町役場から防災無線

線で放送される内容などをよく

聞き、落ち着いて行動しましょう。

●うわさや、根拠の無い情報に惑わされな

いよう気をつけましょう。

●火山泥流の危険から逃れるためには、川

の下流方向ではなく、安全な高台を目指してできるだけ早く避難することが大切です。



屋外スピーカー



防災無線受信機



避難シェルター



草分防災センター



十勝岳望岳台防災シェルター

白銀温泉にある十勝岳火山防災情報センターや、上富良野町の草分防災センターは、周りより高い土地にあり、避難場所に指定されています。観光客や登山者でにぎわう望岳台には、急に噴火した時に噴石から身を守るための防災シェルターが設けられています。

●美瑛町や上富良野町の人々が住んでいる地域では、十勝岳の降灰(空から降ってくる

火山灰)による災害の可能性は低いです。なお、噴火の際は、風向きや噴煙の流れる

方向に注意しましょう。



灰が降っているところではなるべく頭巾やヘルメットをかぶり、目を守るためにゴーグルなどをかけると良いでしょう。風向きに注意して、灰の降ってくる風下からできるだけ離れましょう。

●動きやすい服装、履き慣れた靴で

行動して下さい。



ふん か そな ひ ごろ じゅん び
噴火に備えて日頃からどんな準備をすればいいの？

●ご家族の方々と、いざという時の行動を話し合っておきましょう。

***家族とはぐれた時に^{しゅうごう}集合する場所**

れんらく ほう ほう *連絡を取り合う方法

＊荷物を持つ役割分担

●一度避難すると、すぐには家に戻れないかもしれません。大事な

ものは素早く持ち出せるように、普段から準備しておきましょう。

●火山防災マップ(緊急避難図)を見て、どこが危ない所かを知って

ひ なん ぼう さい しら
おきましょう。また、避難場所も防災マップで調べておきましょう。



平成28年度改訂の「上富良野町緊急避難図」

※美瑛町の「美瑛町防災ガイドブック」はQ7-1に掲載しています。



★普段から十勝岳^{と かち だけ}に親^{した}しみ、火山についてよく知っておくことが、
災害^{さいがい}を防^{ふせ}ぐために一^{いち}番^{ばん}大切なことです。

Q 7-5

火山のことはどのようにして勉強したらいいの?

A まず、学校で習うことをしっかり覚えましょう。また、美瑛町や上富良野町には、火山(十勝岳)や、その周りの自然、砂防などについて学習できる施設もあり、中には様々な展示や体験コーナーがありますので、ぜひ行って見て下さい。

そして、十勝岳が穏やかな間は、山で景色を眺めたり、溶岩に触れたり、温泉に入ったりして、大いに火山を楽しみましょう。

十勝岳火山砂防情報センター

電話 (0166) 94-3301

開館時間: 5月～10月 午前8時半～午後5時

11月～4月 午前10時～午後4時(休館:毎週火曜日)



がい かん
外観



シアター



か ざん がん
火山岩などの展示

美瑛町郷土学館(美田)

電話 (0166) 74-6116

開館時間: 午前10時～午後7時

(休館:毎週火曜日)

入館料: 高校生以上200円



上富良野町開拓記念館

問い合わせ先

上富良野町教育委員会

電話 (0167) 45-5511



たいしょうふん か ちやく ぎ ちゆう えい だう
大正噴火直後の貴重な映像などを見ることができます。

美瑛町観光センター(白金温泉)

電話 (0166) 94-3025

開館時間:

11月～4月 午前10時～午後4時半

5月～10月 午前10時～午後5時

(休館:年末年始)

白金温泉周辺の風景や、動植物などの写真展示を見ることができます。



火山学会の先生方が、質問に答えてくれるホームページもあります。

「火山学者に聞いてみよう」



<http://www.kazan.or.jp/J/QA/br/qa-frame.html>

でも、ちゃんと予習してから聞いてくださいね。



(2007年撮影)

登山道では、ゴツゴツした溶岩を近くで見えてみましよう。